

ヒグマについてのお知らせ

令和5年6月 広報おりこみ



注) 情報の有無に係わらず、村内は、どこでもヒグマがいる可能性があります。

5月に入って以降、目視を含むヒグマ情報が徐々に増えてきましたが、件数は例年とほぼ変わりありません。情報の中身を見ると、ほとんどはそのとき限りのもので、特に継続的な注意や対応を要するものではありませんでした。ただ月半ばの1週間ほどにわたり、下トマムで同じ個体が繰り返し見られ、人への警戒心が薄い様子から、過剰接近のおそれありとして巡視や追い払いを実施しました。

6月になると、フキやイタドリの茂みは高く濃くなり、見通しが悪くなります。こうした草の多い場所はヒグマのえさ場にもなるため、接近接触の危険性がいよいよ高くなります。複数人で行動する、音を鳴らす、ヒグマの気配に注意するなどの簡単な対策を着実にいき、人身事故を防いでいきましょう。



ヒグマ情報マップは村ホームページにも掲載しています
<http://www.vill.shimukappu.lg.jp/shimukappu/section/nourin/ringyou/nmudtq000002reii.html>



電波標識個体の追跡情報 (5/26)

メス成獣
4/2の活動開始以降、上トマム北方から落合にかけての林内で過ごす。4/29に上トマムで目撃され、子3頭連れと確認された。5月初旬に4日間リゾートエリアで過ごし、以後は再び落合串内方面に所在。

オス成獣
依然として電波途絶。
データは絶望的

情報提供：酪農学園大学

次のような状況はすぐに対策が必要です。

- 住宅や事業所等、人の生活する場所に現れた。
- 道路上や道路脇、農地に居座っている。
- 人に気付いても逃げない。
- 人に近づく素振りを見せる。あとを付けてきた。
- 持ち物を奪われた。
- 農作物や生ゴミなど、人工物を食べている。
- 人や家畜、ペットが襲われた。
- ヒグマが車と衝突、けがをして道路周辺にいる。

すぐにお知らせください。

状況に応じ、注意喚起や立入制限、追い払いや捕獲等の対処をします。

占冠村役場 農林課

林業振興室 野生鳥獣担当

☎0167-56-2174

占冠駐在所

☎0167-56-2110

次のような状況では、静観できると考えられます。

- 山間部で道路の横断を目撃した。痕跡があった。
- 山林内でヒグマの痕跡を見た。
- 山林内でヒグマを目撃した。ヒグマは立ち去った。

役場林業振興室に情報をお寄せください。生息状況の基礎データとして集積し、対策に活かしてまいります。



よろしくお願い致します。占冠村役場 農林課 林業振興室 電話0167-56-2174

ヒグマからの攻撃を受けないための原則は、まず自身とヒグマとの距離を取ること、そして自身が不利な状況で、場所や物をヒグマと争奪する関係にならないことです。

できるだけ周囲の見通しの良い進路を選ぶ

物陰には近づかない

もしヒグマがいたときに、できるだけ距離が確保されることを意識して歩く

見通しの悪い林は通らない

ゴミ投げ捨て絶対禁止!!ヒグマが誘引されたら危険!!

動物の死骸や、死臭のする所へは近寄らない

危なそうなところは踏み込む前に声をかけて知らせる

ヒグマの痕跡があったら引き返す

二人以上で行動

クマ鈴

Dispose trash properly! **ゴミの管理を適切に!**

Just on that day!! **決められた日に!!**

Just to that box!! **決められた箱へ!!**

Mow the grass around your house!!

Keep a distance from bushes!!



出会う

○ すべきこと	× しないほうがよいこと
・立ち止まる ・落ち着いて観察 ・同行者、付近の人と集まる ・背を見せずに、歩いて離れる	・大声で悲鳴 ・物を投げつける ・同行者と散り散りになる ・背を向けて走って逃げる

チームが、5年目となる今期の活動を始めました。4月から11月にかけて、村内の森林や河川でシカ、ヒグマ、アライグマの調査を行います。ただ観察するだけでなく、捕獲や追跡を交えた「攻め」の研究活動が期待されます。成果については、村のヒグマミーティングなどで皆さまに紹介していきたいと思います。



預告!!

シカ肉の有効活用を考える
村民有志のつどい 第三

四月と五月に開催し、ご好評いただきました
 続く第三回を企画中です。ご興味お持ちの方は
 お問い合わせください。

過去の開催結果や最新の情報は、
 村ホームページもご参照ください。



* 注：ヒグマ個体の認識であり、事実と異なる場合があります